

平成25年度の学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<p>①様々な体験や世代・領域を超えた多くの人との出会いの場の提供と積極的な活用 ②生徒の可能性を引き出し、能力を最大限に伸ばすことのできる教員・生徒間の信頼関係の醸成 ③学習不振、学校不適応、発達障害など特別に支援の必要な生徒についての日常的な情報交換と組織的対応 ④ホームページ・中学校訪問などを通じた的確で迅速な情報発信 ⑤安全で快適な教育環境の整備 ⑥組織及び個人の両面におけるコンプライアンスの徹底</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導	<p>①65分授業の充実</p> <p>②個々の生徒に応じた学習指導法の確立</p>	<p>・3年間を見通した実践的な学習指導計画を立てる。</p> <p>・生徒の多様化に対応した適切な学習指導や学習活動を行う。</p>	<p>・「年間指導計画並びに実施表」を活用して学習指導計画をしっかりと立てることができた。新課程の進行に伴い、さらなる検討を行う必要がある。</p> <p>・「授業感想アンケート」については、昨年度と今年度の集計結果を教科毎に比較検討した。その結果を来年度の指導計画にも反映させていく。</p> <p>・生徒の家庭学習時間が昨年度よりも減少した。学年会、教科会等において、家庭学習時間確保のための対応策の検討を行っていく必要がある。</p> <p>・問題意識を職員間で共有し、各教科で教材や指導法を工夫して学習指導を行った。引き続き、具体的な対応策の検討を行っていく。</p>
生徒指導	<p>①基本的な生活習慣の確立</p> <p>②学校安全の推進</p> <p>③教育相談の推進</p> <p>④公共でのマナーの向上</p>	<p>・遅刻、早退、欠席の理由を把握して適切な指導が行えているか</p> <p>・身だしなみについて日常的に意識させることができているか。</p> <p>・生徒の安全を考え、組織的に対応する。</p> <p>・生徒の交通安全への意識高揚が図れているか。</p> <p>・予防的な教育相談活動に取り組んでいるか。</p> <p>・不適応生徒を早期に把握し、組織的な対応が図れているか。</p> <p>・公共でのマナーが守られているか。</p> <p>・あいさつの励行</p>	<p>・統計的な資料を活用して遅刻過多者の指導を行い、昨年度より遅刻総数が減少した。</p> <p>・学年会との連携を図る事ができた。</p> <p>・遅刻が多発する時期には、集中的な指導を実施して指導効果を高める事ができた。</p> <p>・身だしなみ指導期間を設定して生徒の自覚を促し、指導の組織化を図ることができた。</p> <p>・防犯マニュアルを活用して、組織的な対応を図った。</p> <p>・警察署と連携して、交通安全講話を実施した。</p> <p>・職員とPTAとの連携による交通安全指導日を設け、危険箇所の街頭補導を行った。</p> <p>・生徒交通委員を活用して安全マップの作成などを行った。</p> <p>・重大な事故はなかったが、軽傷な事故が多く報告されたため、全体集会で注意を呼び掛けた。</p> <p>・クレペリン検査等を通して予防的な教育相談活動を研究し、集団としての精神健康度の向上を図った。</p> <p>・生徒の精神的健康状況や不適応生徒についての職員理解を高めた。</p> <p>・スクールカウンセラーとの連携をとり、生徒のケアに努めることができた。</p> <p>・学年会、保健部と養護教諭との連携により、不適応生徒の理解を職員と共有し、組織的な対応を図ることができた。</p> <p>・あいさつや駅、バス内でのマナー向上や交通マナーについて全体集会で注意を呼び掛けた。</p>
進路指導	①進路選択能力の育成	<p>・面談、進路相談の充実</p> <p>・適切な資料提示</p>	<p>・将来の希望実現にむけての学習の方向性を示せるような充実した検討会にし、担任の先生に生徒との面談を多くもってもらった。</p>

	<p>②進路に応じた進路設計</p> <p>③進路目標の堅持と幅広い視野の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路検討会・入試情報交換会の充実 ・新課程入試に向けての対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報を適切に生徒に示せるよう担任との連携を密にする。 ・生徒に望ましい職業観を育成するよう進路 LT の充実を図る。また、進路 LT 間に合うように進路のしおりを完成させる。
生徒会活動	<p>①部活動の充実</p> <p>②生徒の力で作り上げる生徒会行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問会議と部長会議の有効活用をする。 ・生徒会執行部を中心とした指導体制の確立。 ・生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総体尾張予選で男女ともに準優勝を獲得し、各部の努力の結果を示すことが出来た。また、弓道部、水泳部、陸上部が東海大会出場し、団体競技での入賞も果たすことができた。 ・執行部への立候補も多く、期日通りに成立した執行部は積極的に行事に取り組み、各委員会とも協働し、充実した学校祭、予餞会を行うことが出来た。 ・各種行事に生徒が主体的、積極的に取り組み、アンケートでもそれを裏付ける結果が得られた。
学校図書館	<p>①図書館の利用機会、利用者数、年間貸出冊数の増加</p> <p>②生徒図書委員会の活性化</p> <p>③図書館の環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、LT等での図書館利用をアピールし、生徒への広報活動に力を入れる。 ・委員会組織の再編成と委員会の活性化。 ・蔵書のバーコード化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動として、今年度は「図書館たより」（月刊）「新着図書案内」（随時）の内容を充実させることができた。しかし、授業、LTでの利用は少なく、年間貸出冊数は昨年度を下回ってしまった。 来年度は貸出冊数を増やすべく、図書館により多くの生徒が来館するよう工夫したい。 ・委員の役割を見直し、より活動しやすい組織に改編した。委員は文化祭企画等、よく努めた。 ・開架の古い書籍を思い切って廃棄し、開架の書籍の9割にバーコードをつけた。来年度にはバーコード化を完成させ、開架の配置換えをし、利用しやすい環境へと整備を進めたい。
学校保健	<p>①美化活動の充実</p> <p>②環境問題への取り組みの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の清掃活動、特別清掃の充実を図る。 ・ゴミの分別、減量、リサイクルを徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃、特別清掃（校内外美化活動、スノコ清掃、側溝清掃）とともに職員・生徒の協力のもと計画通り実施できた。 ・文化祭の当日清掃については、今年から生徒会と協力して実施した。 ・少数ではあるが年間を通して、ゴミ捨てマナーに反する状況が見受けられた。ゴミの分別、減量、リサイクルの意識をより一層高めるように指導していきたい。
	<p>①保健・安全教育の充実</p> <p>②保健安全指導の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒保健委員会活動の充実を図る。 ・心身の健康や安全指導の充実を図る。 ・健康観察の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な委員会活動を目指して、生徒による保健便りの発刊、上水道の水質検査などを行っている。特に夏季は熱中症予防、冬季は感染症予防のための広報活動に力を入れ活動した。 ・美化係をつくり、主体的に働くよう指導した。保健委員がゴミ処理の状況を把握ができるように指導し、その結果を踏まえて、2学期の終業式で保健委員長が生徒全体に訴えかけた。今後も、より積極的に活動できるように指導していきたい。 ・熱中症について、職員は職員会議で共通理解を持った。 ・部活動部長・マネージャー、体育祭の群団長を対象に熱中症を中心にした安全講習会を実施し、一定の効果を上げることができた。 ・生徒の心身の問題を早期発見・把握するため健康観察を具現化し、その流れを明確にした。特に今年度から欠席連続3日・感染症・入院については、わかり次第担任が報告することとした。また、学年会との情報交換を密にし、保健室に情報が集約されるようにした。保健室に来室しない生徒についても把握が日常的にでき、こちらからアプローチすることができた。

ファッション創造科	<ul style="list-style-type: none"> ①専門的知識・技術の習得 ②創造力・実践力の育成 ③地域社会に貢献する人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションや保育に関する専門的知識・技術を習得させる。 ・豊かなライフスタイルを創造する能力や実践力を育成する。 ・地域社会が求める資質や能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース制導入により各分野の専門的を高めた。特に子どもの文化コースにおいては、教材研究や保育現場での知識・技術の習得を図り、施設・設備の充実に努めた。 ・各コースにおいての特色を活かし、物作りの楽しさ、創造・実践する喜び等の体験を通して生徒自身の自信につながり成果を得ている。 ・今年度の全国産業教育フェア愛知大会の参加では、3年生中心のステージ発表等での活躍により全国への発信力を高めたり、インターンシップにより就業体験力を身につけたり、卒業研究発表会により3年間の実践結果を披露したりする等生徒の資質や能力の向上を図った。
総務	<ul style="list-style-type: none"> ①広報活動の充実 ②防災意識の向上 ③学校と保護者の協力体制の充実 ④文書整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容充実 ・防災教育の研究と実践 ・PTAとの情報交換 ・古文書整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載までの手順を明確にして迅速で、担当者の負担が少ない内容更新を試みた。今後は更新回数をさらに増やすことを検討したい。 ・他校の様子を参考にして防災避難訓練の内容を改めた。また、文章を配布するなどして生徒の減災意識の啓発に努めた。 ・PTA理事会毎に保護者の意見を伺い、それに対して解答することで、情報の共有や学校側の考えを理解していただく機会とした。 ・ある程度の古文書は破棄したが、次年度にも継続していく予定である。
1年	「逞しい心身の育成」	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の早期定着への指導 ・生徒との信頼関係の樹立 ・高校生としての学習法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席は少なく良好である。本学年においてもスマートフォンが台頭し生活のリズムに影響しているケースがあるので、保護者と連携をとりながら対処していきたい。 ・素直で話がしっかり聞ける生徒が多く、信頼関係は良好である。今後も面談等をしっかり行なっていきたい。 ・生徒間の差はあるが、高校生としての学習法はずいぶん確立してきた。確立する時期の差がそのまま成績の差に表れている傾向にあるので、上位を伸ばしながらいかに下位の手当てをしていけるかが今後の課題である。
2年	<p>マナーの向上</p> <p>学習と部活動の両立</p> <p>具体的進路目標の設定</p>	<p>時間に対する意識を高める。</p> <p>授業をすべての中心ととらえ、充実した生活を送る。</p> <p>具体的進路目標を設定し、進路意識を高める。</p>	<p>欠席・遅刻とも少なく、落ち着いた学校生活を送っている。</p> <p>学習活動・部活動ともによく努力している。しかし、なかなか両立できない生徒も目立つ。このような生徒には今まで通り、こまめな指導を続けていきたい。</p> <p>どうしても小さくまとまってしまう傾向がある。面談を重ね、本当に自分が進みたいと思う道を見つけさせたい。</p>
3年	<p>進路目標の実現と将来の社会人としての基盤の確立</p>	<p>進路志望の設定と実現</p> <p>社会人としての基盤の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初はあやふやな生徒も進路アンケートや面談などを通して進路目標を設定できるようになった。控え目な志望の生徒が目立つが、その実現に向けて真摯に努力する生徒が増えていった。 ・マナーについて指導する機会は多くはなかったが、指導に素直に従う生徒が多かった。また、入学当初から遅刻が少ない状況が続いている。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導における授業改善と多様化する生徒に対応した学習活動の推進について ・生徒指導における基本的生活習慣の確立について ・部活動と生徒会行事の充実について 	